



東藤島こうみんがんだより

●人口 3,560人(男1,742 女1,818) ●世帯数 1,320戸(令和6年1月1日)
令和6年2月10日 福井市藤島町48-1-1 東藤島公民館 TEL54-0039 hfujik@mx1.fctv.ne.jp

連合会長就任のご挨拶

東藤島自治会連合会
会長 水野 英一郎

立春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は自治会活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、自治会連合会長の大役を仰せつかりました、水野と申します。未熟者の上、不慣れではございますが、一生懸命務める所存ですので、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

今年は、正月早々大変な災害が起こってしまいました。能登半島地震で被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。そして、改めて危機管理をしっかり行い、災害に強い地域・まちづくりを行わなければならないと痛感しています。

東藤島地区は、自然豊かな環境であり、生活されている住民の皆様の交流が盛んな素晴らしい地域です。そして、昨年は、コロナの呪縛からようやく解放され、いろいろな行事や活動を実施することができました。縮小したり、簡素化したりした面もありますが、今年もそうしたことを念頭に置きながら、東藤島区民体育祭をはじめ、様々な行事や活動を行い心豊かに過ごせる地域にしたいと思います。

最後になりますが、本年が皆様におかれまして幸多い年でありますように、そして心穏やかに暮らせる年でありますことを心よりお祈りいたしまして、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

地区年賀会が賑やかに!

東藤島地区の年賀会が、昨年同様規模を縮小し、新年のご挨拶を交す会として、1月6日(土)午前10時から行われました。

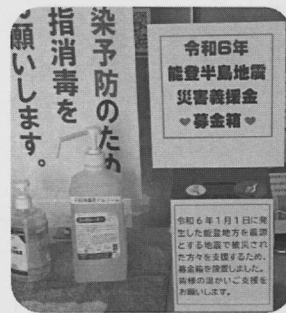
西行市長をはじめ多くの方々のご臨席のもと、地区役員の皆様が新年のあいさつを交わし、これからの東藤島地区について意見交換を行いました。



能登半島地震被災地へ義援金を送らせていただきます

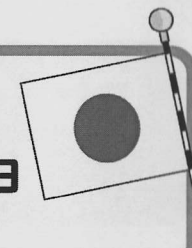
この度の令和6年能登半島地震に伴う被害に遭われた地域の皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。被災地への義援金を自治会長会で検討し、自治会連合会から20万円を拠出することとしました。福井市自治会連合会に寄託し、被災地の復興のために被災地域の自治体に送っていただきます。

また、公民館の玄関に、募金箱を設置しました。皆様の温かい善意、ご協力をお願いいたします。



祝日には忘れずに
国旗を掲げよう!

2月11日(日)建国記念の日
23日(金)天皇誕生日



公民館休館日

2月11日(日)・12日(月)・18日(日)・19日(月)
23日(金)・26日(月)
3月4日(月)

「はたちのつどい」は3月開催です

東藤島公民館では、東藤島小学校を卒業したはたちの方々を対象に、同窓会形式の「はたちのつどい」を開催しています。今年の東藤島地区「はたちのつどい」は、3月16日(土)に開催する予定で計画をすすめています。対象の方々にはSNSなどでお知らせしますので、もうしばらくお待ちください。

また、福井市の「はたちのつどい」は3月17日(日)開催です。市内に住民票がある方への案内はがきは発送済みです。案内はがきは、はたちのつどい当日の入場券にもなりますので、大切に保管してください。

就学や就職等により住民票を市外に異動された方や市外から通学されていた方で参加を希望される場合は、案内はがきの交付申請が必要となります。その場合はオンライン申請、郵送、または福井市役所生涯学習課窓口での受付のいずれかの方法で申請してください。詳しくは福井市役所のホームページをご覧ください。

なお、3月16日(土)は北陸新幹線福井駅開業日と重なるため開業日前後は交通機関等が大変混雑することが予想されます。帰省される方は、早めのご準備をお願いいたします。

学級通信「四季折々楽」

12月19日の楽習会では、お正月の準備として、県花壇アドバイザーの渡辺寛幸氏を講師に、寄せ植えで素敵なミニ門松を作りました。門松はお正月に年神様が家を見つけやすいように、家の目印として立てたことが始まりと言われています。「シクラメンは球根が土の上に出るように」などそれぞれの植物の特性などを学びながら、楽しく作業を進めました。

参加した方からは、「なかなか思うようにいかなかったですが、何とかやり終えて楽しかったです。」「初めて参加しましたが、初心者にもわかりやすく説明していただき、楽しい有意義な時間となりました。」「今年も早や年の瀬を迎え新年が待ち遠しいです。門松を飾り、心新たに新年を迎えます。」「素敵な鉢の完成!来年も花のように華やかな年になりますように!」などの感想が寄せられました。



火の用心 一つのゆだんが大さんじ 東藤島小児童作品

重点目標 あいさつ・国旗掲揚・環境美化



くらしの提言

駐在所だより

☆震災に便乗した犯罪に注意！

令和6年能登半島地震の発生に伴い、人の不安や善意に付け込んだ犯罪の発生が懸念されます。

- 住宅の修理等の悪質業者
- 給付金詐欺
- 義援金を装う詐欺

などに注意してください。
不安な場合は警察や自治体に相談してください。

☆歩行者の交通事故に注意！

県内では昨年12月、歩行者が死亡する交通事故が2件発生しました。

冬季は特に薄暮時間帯や夜間における道路横断中の歩行者が犠牲になる重大事故が多く発生しています。

横断歩道は歩行者優先です。ドライバーの皆さんは歩行者がいたら必ず止まりましょう！
歩行者の皆さんは、薄暮時間帯や夜間に外出する際は、明るい服装と反射材の着用をお願いします。

防犯パトロール

2月17日(土) 午後7時～午後9時

福井警察署 ☎52-0110

公民館大掃除お礼



12月23日(土)に、公民館で活動している自主グループの皆さんのご協力を得て、公民館の大掃除を行いました。

日ごろ手の届かない隅々や机や椅子の拭き掃除、整理整頓などをしていただいて、すっきりとした気持ちで新年を迎えることができました。

ご協力、ありがとうございました。

自主グループの申請を 受付けています

東藤島公民館では、現在16の自主グループが活動しています。自主グループは私塾とは違い、教育的な目的に沿って会員が自主的な運営をしながら学習を行います。その成果を個人にのみ還元するのではなく、学習を通して得たものを地域や地域の人たちに還元することも大切にしています。福井市では社会教育団体に類するものとして、自主グループの活動に対し公民館を利用する際の使用料減免などの支援をしています。

自主グループとして登録申請ができる団体は、社会教育法第23条に抵触しないこと(営利目的・政治活動・宗教活動の制限)、原則として、区内在住・在勤者を構成員とし、10人以上であること、運営主体はあくまでもグループの構成員であり講師主体ではないことなどを条件としています。

登録申請は登録申請書を提出いただき、公民館運営審議会で承認します。期間は4月1日から1年間です。

新しいグループの申請も可能です。部屋の空き状況などもありますので、早めに公民館にご相談いただき、2月中に申請書を提出ください。



移動図書館

「あじさい号」がやってくる！

福井市図書館から東藤島地区の方々のために、毎月一回、移動図書館車あじさい号が東藤島公民館へ巡回してきます。ふるってご利用ください。

- 蔵書数…一般書、児童書など約1500冊
- 貸出期間…次回の巡回までの約4週間
- 貸出冊数…最大10冊まで
- 次回貸出日…3月6日(水)

11:00～11:20

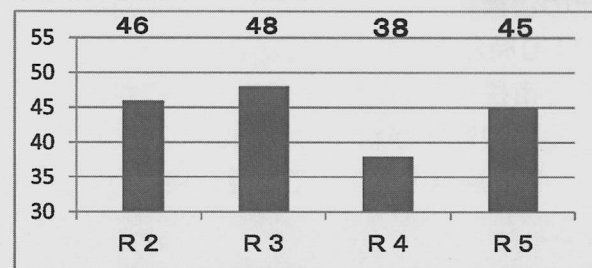


福井市東消防署

東分署からのお知らせ

令和5年の 福井市火災・救急統計

○火災件数…45件

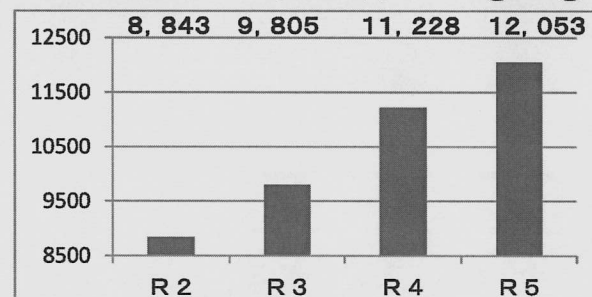


令和5年の火災件数は45件で令和4年の38件と比較して7件増加しました。

出火原因は、電気関係が5件、タバコが5件と同数で1位、たき火が4件で3位でした。

一人ひとりの予防意識が火災の減少につながります。火の取扱いには十分注意しましょう。

○救急件数…12,053件



令和5年の救急件数は12,053件で、令和4年の11,228件と比較して825件増加しました。

昭和46年以降、最も多い数となっています。

今後も助かる命を助けるために、救急車の適正利用をお願いします。

消防水利除雪のお願い

火災発生時に消火栓、防火水そうが雪で埋もれていると、発見、使用までに時間がかかります。迅速な消火活動のため、積雪時にはご自宅付近の消火栓、防火水そうの除雪にご協力をお願いします。



(お問い合わせ先)
福井市東消防署 東分署
☎57-0119
火災・救急は「119番」です。
正しい「119」番通報をお願いします。



子どもたちに残したい 美しい日本の歌



青い眼の人形 野口 雨情 作詞
本居 長世 作曲

青い眼をした お人形は
アメリカ生まれの セルロイド
日本の港へ ついたとき
一杯涙を うかべてた
「わたしは言葉が わからない
迷子になったら なんとしよう」
やさしい日本の 嬢ちゃんよ
仲よく遊んで やっとくれ
仲よく遊んで やっとくれ

昭和2年、アメリカからの親善使節として、人形が続々と日本に贈られてきました。青い眼をした人形大使は、各地の小学校や幼稚園などで熱烈な歓迎を受けました。この使節団訪問のきっかけをつくったのが、実は童謡「青い眼の人形」のヒットでした。大正10年12月、児童雑誌『金の船』に発表されたこの歌は、ハワイ・アメリカ公演で聴衆に好評を博しました。伝統的な要素を巧みに生かす作曲家・本居長世の才能は、この曲の中でも遺憾なく発揮されています。曲の中間部の「日本の港へついたとき」からは、それまでの曲調から一転して都節的な音階に転調します。また、「ついたとき」や「わからない」の部分では、ポルタメント(音程の違う高さの音と音をなめらかにつなぐ奏法)風の節回しがいわれているところから、童謡にしてはいささか技巧に走りすぎた感がないわけではありません。しかし、人形のさっそうとした登場を表すかのような前奏、不安な気持ちを表現する伴奏部の十六分音符の後打ちなど、言葉の実感をこまやかに音楽的に表現しているところはさすがといわざるを得ません。ちょうど同時期に発表された雨情・長世コンビによる「赤い靴」も広く愛唱されるようになりました。当時の人々にとって海の彼方の外国は、あこがれの地であったとともに、情報や交通の発達した現代からは想像もつかないほど謎めいた別世界でもあったようです。

参考資料:「心に響く童謡・唱歌
～世代をつなぐメッセージ～
(東洋館出版社)